

公益財団法人総合安全工学研究所

平成29年度事業報告書

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

1. 総合安全工学に関する調査研究並びにコンサルティング・サービス

総合安全工学に係る以下の7件の調査研究を実施した。

- ◎ セキュリティ対策に関する調査研究
- ◎ 水素ステーションにおける事故シナリオの影響評価支援
- ◎ 爆発探知装置の評価業務（その4）
- ◎ セキュリティ対策に関する調査研究（その2）
- ◎ 商用水素ステーションにおける事故・トラブル原因分析に関する業務
- ◎ 据置型爆発物検出装置デモ機評価業務
- ◎ 大和川線トンネル内災害リスク調査及び影響検討業務

2. 化学物質等の危険性に関する各種試験測定と安全性評価、危険物探知装置の性能評価

実験室に所要の実験設備・器材の整備充実を図り、化学物質等の危険性に関する各種試験測定を行い、危険物等の安全性評価並びに危険物探知装置の性能評価を行った。

（計 21件）

実施した試験の内容は、液体物質の引火点、粉体物質の小ガス炎試験、着火試験、爆発限界、最小発火エネルギー、爆発圧力、圧力容器試験、加熱試験等である。

3. 総合安全工学に関する人材の養成

総合安全工学に関する専門家を養成するために、セミナーおよび講習会を開催した。

3-1 化学安全セミナーの開催

- ◇ 238回 2017-05-24（水）
演題 「事故例の学び方と化学プラントの安全管理」
講師 中村 順 （総安研）
- ◇ 239回 2017-07-12（水）
見学会 消防研究センター
- ◇ 240回 2017-09-15（金）
見学会 成田国際空港株式会社
- ◇ 241回 2017-11-22（水）、23（木）
見学会 富士石油株式会社
- ◇ 242回 2018-01-26（金）
演題 「保安チェックポイント集および検索システムについて」
講師 竹内 亮 （事故分析・コミュニケーション研究所）
鈴井 真紀 （産業技術総合研究所）
- ◇ 243回 2018-03-28（金）

安全反省会

3-2 プロセス安全セミナーの開催

- ◇ 200回 2017 -04 - 12(水)
演題 「化学事故からの安全チェックポイントの抽出」
講師 牧野良二 (産業技術総合研究所)
- ◇ 201回 2017 -06 - 07(水)
演題 「化学系廃棄物の処理現場の現状と課題」
講師 森 雅弘 ((株)ハチオウ)
- ◇ 202回 2017 -08 - 09(水)
演題 「ヒューマンエラーの抑止：その理論と実践」
講師 中田 亨 (産業技術総合研究所)
- ◇ 203回 2017 -11 - 01(水)-02(木)
見学会 三井化学株式会社大阪工場
国土交通省航空保安大学校
- ◇ 204回 2017 -12 - 13(水)
演題 「三井化学(株)技術研修センターの紹介と技術伝承教育の工夫について」
講師 木原 敏秀 (三井化学(株)研修センター)
- ◇ 205回 2018 -02 - 22(木)
演題 「有機ケミカルハイドライドを利用した水素の大規模貯蔵輸送技術」
講師 岡田 佳巳 (千代田化工建設)

3-3 テロ対策セミナーの開催

- ◇ 25回 2017 - 04 - 21 (金)
話題提供による協議
講師 基調講演 中村 順 (総安研)
- ◇ 26回 2017 - 06 - 09 (金)
演題 「放射線被ばく、テロ対処と緊急被ばく医療支援などについて」
講師 富永 隆子 (放射線医学総合研究所)
- ◇ 27回 2017 - 08 -04 (金)
演題 「サイバーテロについて」
講師 川口 賢 (コモドジャパン)
- ◇ 28回 2017 - 10 -06 (金)
演題、 「イスラエルにおけるテロとセキュリティ技術の紹介」
講師 アサフ マルコ (イスラエル大使館)
- ◇ 29回 2017 - 12 -01 (金)
見学会 成田空港保安施設
- ◇ 30回 2017 - 12 -18 (月)
爆発物・テロ対策に関するシンポジウム

講師 中山良男、岩城征昭、富永隆子、土屋兼一、中村順

◇ 31回 2018 - 02 -02 (金)

演題 「CBRNEからの防護について」

講師 岩熊真司 (東洋紡株式会社)

3-4 講演会・シンポジウム

・爆発探知・テロ対策セミナー」

火薬学会、全国火薬類保安協会と共催

2018 - 02 -23 (水)

・爆発物・テロ対策に関するシンポジウム

2017 - 12 -18 (月)

4. 総合安全工学に関する情報の収集、処理及び提供ならびに普及啓発

4-1 普及啓発雑誌「セイフティエンジニアリング」の発行

☆ 187号 44巻2号 2017年6月1日発行

巻頭言「安全工学と人材育成」 三井化学株式会社

安全・環境部部長 出口 敦

「可燃性化学物質の安全管理」

国立大学法人横浜国立大学 大谷英雄

「静電気による爆発・火災および防止対策」

独立行政法人 労働安全衛生機構 崔 光石

「化学プロセスの非定常リスクアセスメント」

有限会社システム安全研究所 高木伸夫

「安全計装システムは何故うれないのだろうか？」

横河ソリューションサービス株式会社 五十嵐英樹

「熱中症—熱中症の現状と予防」 国立大学法人横浜国立大学 田中英登

☆ 188号 44巻3号 2017年9月1日発行

巻頭言「IOTであらゆるものが繋がる時代の安全」

明治大学名誉教授 向殿政男

「化学物質の危険性のリスクアセスメント支援について」

みずほ情報総研株式会社 貴志孝洋

「量子暗号通信、その概念と安全性」

国立大学法人横浜国立大学 小坂英男

「近赤外光を用いた液体検査」

国立大学法人大阪大学名誉教授 糸崎秀夫

「硝酸アンモニウムの爆発事故」

公益財団法人総合安全工学研究所 中村 順

- 「ガス爆発による構造体破壊の数値シミュレーション」
株式会社爆発研究所 吉田正典
- ☆ 189号 44巻4号 2017年12月1日発行
巻頭言「新技術の普及とリスク低減に向けた安全研究」
国立研究開発法人産業技術総合研究所安全科学研究部門長 緒方雄二
「事業所における放射線事故対応」
国立研究開発法人放射線医学研究所 富永隆子
「微生物を利用した土壌浄化技術」
国立研究開発法人国立環境研究所 岩崎一弘
「日本の化学物質管理制度について」
独立行政法人製品評価技術機構 吉田しのぶ
「特定不活性ガス」と冷媒の可燃性」
元独立行政法人産業技術総合研究所 堀口貞茲
千代田化工建設株式会社 柴崎敏和
- ☆ 190号 45巻1号 2018年3月1日発行
巻頭言「危機管理—今経済人に問われているもの—」
帝国繊維代表取締役社長 白岩 強
「化学物質管理のための情報収集」
独立行政法人製品評価技術機構 吉田しのぶ
「サイバーセキュリティについて」 株式会社コモドジャパン 川口 賢
「病院情報システムと患者情報」
国立研究開発法人国立国際医療センター 美代賢吾
「船体折損100年の歴史と構造技術」
国立大学法人横浜国立大学名誉教授 角 洋一
「危険性物質により発生した爆発・火災事例」
独立行政法人 労働安全衛生機構 板垣晴彦

4-2 総合安全懇話会の開催

- ◎267回 2017-05-12(金)
演題 「化学プロセスの非常リスクアセスメント—HAZOPの活用—」
講師 高木伸夫 (システム安全研究所代表)
- ◎268回 2017-07-21(金)
演題 「近赤外分光を用いた液体爆発物検査」
講師 糸崎 秀夫 (大阪大学名誉教授)
- ◎269回 2017-09-22(金)
演題 「可燃性物質の安全管理」

講師	大谷 英雄 (横浜国立大学教授)
◎270回	2017 -11 -17(金)
演題	「化学プロセス産業における安全文化のモデル化と醸成」
講師	宇野 研一 (慶応義塾大学)
◎271回	2018 -01 -12(金)
演題	「事故損害防止のための国際保険ブローカーの取組み (装置産業を例として)」
講師	高尾 義行 (マーシュ ブローカー ジャパン)
◎272回	2018 -03 -16(金)
演題	「第2期ラービグプロジェクトの概要と保安規制」
講師	平田 勇夫 (保安力向上センター)

5. 「安全工学グループ」の活動

災害に関する科学及び技術の系統的な知識体系を踏まえて、専門家の立場より国民の安全・安心に係る活動をしている公益財団法人総合安全工学研究所、特定非営利活動法人安全工学会、保安力向上センター、特定非営利活動法人災害情報センターの4機関が、“教育・研究、産業、社会”における安全への意識・知識の向上を図ることを目的に「安全工学グループ」を平成28年6月1日に設立し、活動を開始した。その後、特定非営利活動法人リスクセンス研究会が安全工学グループに参加し、5機関で活動している。

本年度は、学術会議主催「安全工学シンポジウム」でパネルディスカッションを行うとともに、安全相談に対応した。

6. 法人の運営関係

6-1 評議員会

(1) 第9回評議員会 (定時)

平成29年6月2日(金)、評議員7名、理事4名出席のもとに第9回評議員会(定時)を開催し、各議案について審議し、全議案が原案のとおり可決された。

第1号議案	平成28年度事業報告書及び収支決算書承認に関する件
第2号議案	任期満了に伴う次期理事及び監事選任に関する件
第3号議案	評議員辞任等に伴う追加評議員選任に関する件

(2) 第10回評議員会 (書面決議)

理事長は、平成30年1月19日に評議員会の議決を要する下記の議案を書面で提案し、評議員全員の書面による同意を得、平成30年1月29日に全議案が原案のとおり可決された。

第1号議案	平成30年度事業計画書承認の件
第2号議案	平成30年度収支予算書承認の件

6-2 理事会

(1) 第13回理事会 (定時)

平成29年5月12日(金)、理事8名、監事2名出席のもとに第13回理事会(定時)を

開催し、以下の議案について審議し、全議案を原案通り可決するとともに、理事長および専務理事は職務実施状況報告を行った。

審議事項

第1号議案	平成28年度事業報告書及び収支決算書承認に関する件
第2号議案	任期満了に伴う次期理事及び監事候補者の選任に関する件
第3号議案	評議員辞任等に伴う追加評議員候補者選任に関する件
第4号議案	第9回評議員会（定時）召集に関する件

報告事項

理事長および専務理事の職務執行状況報告

(2) 第14回理事会（臨時）

平成29年6月2日（金）、理事8名、監事1名出席のもとに第14回理事会（臨時）を開催し、以下の各議案について審議し、全議案が原案のとおり可決した。

第1号議案 理事長、専務理事および常務理事の選任について

(3) 第15回理事会（定時）

平成30年1月12日（金）、理事8名、監事1名出席のもとに第12回理事会（定時）を開催し、以下の各議案について審議し、全議案が原案のとおり可決するとともに、理事長および専務理事は職務執行状況報告を行った。

審議事項

第1号議案	平成30年度事業計画書承認の件
第2号議案	平成30年度収支予算書承認の件
第3号議案	第10回評議員会（臨時、書面決議）開催の件

報告事項

理事長および専務理事の職務執行状況報告

6-3 運営委員会

法人の運営に関し、運営委員会を第217回（平成29年7月21日）～第220回（平成30年3月16日）の4回開催した。また、幹事運営委員会は、6回（4月、6月、8月、10月、12月、2月）開催した。

6-4 一般事務

平成30年3月31日現在の役職員は、次のとおりである。

役員	理事	8名
	監事	2名
評議員		12名
参与		5名
職員		5名（非常勤役員兼務1名）

附属明細書

1. 役員以外の法人等の業務執行理事等兼職の状況

役員以外の法人等の代表理事および業務執行理事兼職の状況は以下のとおりである。

役職	氏名	兼職状況
理事	小川輝繁	公益社団法人全国火薬類保安協会代表理事副会長
理事	三宅淳巳	一般社団法人火薬学会代表理事会長 公益財団法人火薬技術奨励会業務執行理事
理事	安原 洋	一般社団法人日本医療機器学会代表理事理事長
監事	向殿政男	公益社団法人私立大学情報教育協会代表理事会長 一般社団法人セーフティグローバル機構代表理事会長